

内科必修－1 肝胆膵内科

第1項 検査

一般目標

肝胆膵疾患について、その診断過程の知識を身につけ、諸検査の的確な指示が出せること。

また、その診断について理解でき次の診断または治療に結び付けられる指示ができること。

具体的目標

以下の検査法の基本を理解し主実施者または介助者として自身で経験すること。また得られた結果について専門医師の評価を仰ぎ、診断について討議を行うこと。

- ① 腹部超音波検査
- ② 消化管造影X線検査
- ③ 消化管内視鏡検査
- ④ 内視鏡的逆行性胆道膵管造影
- ⑤ 超音波内視鏡検査
- ⑥ 胸水、腹水試験穿刺
- ⑦ 肝生検 試験生検
- ⑧ 切除材料病理検討

第2項 治療

一般目標

肝胆膵疾患特有の治療方法についての知識を身につけ、的確な診断に基づき治療を行うことができる。

具体的目標

以下の治療法を主実施者または助手として経験すること。また治療の結果について評価できること。

- ① 出血性ショックに対する全身管理
- ② 胸水、腹水穿刺排液
- ③ 成分栄養法
- ④ 中心静脈栄養法
- ⑤ 肝癌経皮的局所療法
- ⑥ 肝動脈化学塞栓術
- ⑦ 胆道ドレナージ法

- ⑧ 超音波内視鏡下穿刺吸引法
- ⑨ 進行癌に対する化学療法

(疾患)

急性肝炎 慢性肝炎 肝硬変 自己免疫性肝炎 肝細胞癌 転移性肝
 癌
 閉塞性黄疸 急性胆嚢炎・胆管炎 急性膵炎 膵癌 胆管癌 自己免疫性膵
 炎

上記、第1項・第2項において

実臨床研修

1. 入院患者を担当する。
2. 毎朝指導医と回診し、担当患者の治療方針について検討を行う。
3. 毎週行われるカンファレンス・回診で担当患者の治療経過について報告し、今後の方針を確認する。
4. 急患患者の診療に当たる。
5. 学会・研究会などで症例発表や論文作成を行う。

初期救急対応、当直対応

緊急性の高い病態を有する患者の状態や緊急度を速やかに把握・診断し、必要時には応急処置や院内外の専門部門と連携ができる。

当直は、指導医の指導の下に、外来や病棟での救急対応を行う。

研修評価

日本消化器病学会の規定する研修カリキュラムを基本に評価する。

- ・ 評価者: 自己ならびに指導医
- ・ 評価時期: 当科研修終了時
- ・ 評価方法: 自己記録ならびに指導医の面談

■肝胆膵内科（肝臓）週間スケジュール

	月	火	水	木	金	(土)	(日)
午前	回診 病棟業務	カンファレンス 回診 R F A	回診 病棟業務	回診 病棟業 務	回診 病棟業務 R F A		

午後	病棟業務 回診	R F A 回診	病棟業務 回診	R F A 回診	回診		
----	------------	-------------	------------	-------------	----	--	--

■肝胆膵内科（胆膵） 週間スケジュール

	月	火	水	木	金	(土)	(日)
午前	EUS 回診	EUS 回診	ERCP 回診	ERCP 回診	EUS 回診		
午後	ERCP 回診	ERCP 回診	EUS 回診	回診	ERCP 回診		

※適宜、急患対応

第1節 肝胆膵内科研修〔選択科向け研修〕

第1項 検査

一般目標

肝胆膵疾患について、その疾患並びに診断過程の知識を身につけ、諸検査の的確な指示が出せること。腹部超音波検査、上部消化管内視鏡検査の基本的な技術を身につけること。

具体的目標

以下の検査法の基本を理解し主実施者または介助者として自身で経験すること。また得られた結果について専門医師の評価を仰ぎ、診断について討議を行うこと。

- ① 腹部超音波検査
- ② 消化管内視鏡検査
- ③ 内視鏡的逆行性胆道膵管造影
- ④ 超音波内視鏡検査
- ⑤ 胸水、腹水試験穿刺
- ⑥ 肝生検 試験生検
- ⑦ 生検・切除材料病理検討

第2項 治療

一般目標

肝胆膵疾患特有の治療方法についての知識を身につけ、的確な診断に基づき治療を行うことができる。2年次での研修の際は、1年次での研修よりも病棟管理を自分の判断でもできるようになること。また、指導医の介助者として侵襲的は治療にも携わること。

具体的目標

以下の治療法を主実施者または助手として経験すること。また治療の結果について評価できること。

- ① ショックなど重篤な病態に対する全身管理
- ② 胸水、腹水穿刺排液
- ③ 抗生剤治療
- ④ 成分栄養法
- ⑤ 中心静脈栄養法・カテーテル挿入
- ⑥ 肝癌ラジオ波治療
- ⑦ 肝動脈塞栓術

- ⑧ 内視鏡的・経皮的胆道ドレナージ法
- ⑨ 超音波内視鏡下穿刺吸引法
- ⑩ 進行癌に対する化学療法
- ⑪ 急性肝炎・C型肝炎の薬物療法

(疾患)

急性肝炎 慢性肝炎 肝硬変 肝癌 急性胆嚢炎・胆管炎 閉塞性黄疸
膵癌 胆道癌 急性膵炎 慢性膵炎 IPMN

上記、第1項・第2項において

実臨床研修

1. 入院患者を担当し指示出し・方針決定を行う。
2. 毎朝夕指導医と回診し、担当患者の治療方針について検討を行う。
3. 毎日行われるカンファレンス・回診で担当患者の治療経過について報告し、今後の方針を確認する。
4. 急患患者の診療に当たり指導医と共に緊急処置に対応する。
5. 外来患者の診察を指導医と共に行う
6. 学会・研究会などで症例発表を行う。

研修評価

日本消化器病学会の規定する研修カリキュラムを基本に評価する。

- ・ 評価者: 自己ならびに指導医
- ・ 評価時期: 当科研修終了時
- ・ 評価方法: 自己記録ならびに指導医の面談